



エースモール
事業



エスパー等
非破壊探査
事業



点検リニューアル
事業



環境事業

壊さなくても、未来はつくれる



アイレック技建

A-FRP工法

【特許出願中】
【VE審査済】

引上げ管を本補修



補修前



補修後

雨水等により腐食の激しい引上げ管の継手部を、アラミドFRP製品にて簡単に本補修する工法です。

主な特長

- アラミドFRP補強材2層、ガラスFRP補強材1層、アクリルウレタン塗装ガラスFRPカバー1層を使用する構造のため、鋼管の本補修ができます。
- 補修材は工場製品のため、仕上りにバラツキがなく、誰にでも補修できます。
- 現場にてカット、穴あけなどの加工が簡単にできます。
- 取付に使用する接着剤は、無溶剤であるため、不快な臭いが発生しません。
- トップ層はアクリルウレタン塗装されたカバーを使用するため、後塗装が不要です。
- 耐候性、耐久性に優れ、耐衝撃度試験※において基準強度を確保しています。
(※30kgの重錘を1.5mの高さから落下させ管有効内径60mm以上を確保すること。)

〔使用材料〕 1条当り	①ガラスFRP補強材(厚さ1.0mm、長さ200mm)	2枚
	②アラミドFRP補強材(厚さ0.4mm、長さ200mm)	4枚
	③アクリルウレタン塗装ガラスFRPカバー	1セット
	④インシュロックタイ AB-550W(耐候性タイプ 黒)	4本
	⑤接着剤 黒(一液湿気硬化型接着剤) 333ml	1本
〔使用工具〕	サンダー又は切断機(補強材の簡易な加工に使用)	
	接着剤用ガン・インシュロック締め器(ペンチでも可)	
	金ブラシ・ゴムハンマー	



補修方法(手順)

1 錆の除去・腐食状況確認

継手部の上部、下部が共に腐食している場合が多いので、金ブラシ等で汚れ、錆を除去し腐食状況を確認する。



2 採寸

路面と継手部の距離を測定する。



3 切断(加工)

補強材、FRPカバーを採寸結果に基づき、切断する。



4 仮設置

切断加工した補強材、FRPカバーを仮設置する。



5 養生

電柱、付帯設備が汚れないよう養生する。



6 接着剤塗布

補強材、FRPカバーに接着剤を均等に塗布する。



7 補強材設置 (2層貼付)

アラミドFRP補強材を継手の上部、下部に嵌めこみ、ゴムハンマーで軽く叩いて密着させる。1層目と2層目との合わせ目が重ならないように貼付ける。



8 補強材設置 (3層目)

3層目にガラスFRP補強材を貼付ける。
(この時、合わせ目が2層目と重ならない位置にする)



9 FRPカバー設置

引上げ管全体を覆うように嵌め込み、ゴムハンマーで軽く全体を叩いて密着させる。



10 仕上げ

インシュロックタイで継手に近い位置から上部2箇所、下部2箇所を締め込む。この際ゴムハンマーで軽く全体を叩き、接着剤が均一に馴染むようにする。



お問い合わせ先



アイレック技建株式会社

西日本営業本部 第一事業部 TEL: 06-6443-8109 FAX: 06-6441-8119
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-22-17 西船場辰巳ビル 2F